

ラインズeライブラリ

家庭学習準備チェックリスト

《学校の管理職・情報担当者編》



新年度は、無理のない形で家庭学習を始めることが大切です。学級担任や授業担当の先生が児童生徒に指示しやすいように、学校全体で分担しながら準備を進めましょう。

家庭の通信環境の確認

- 家庭にWi-Fiなどの通信環境が整っているか、アンケート等で把握する
- Wi-Fiがない家庭には、ルーター貸出やオフライン学習の活用方法を提案する



家庭の通信環境によって、タブレット学習の取り組みやすさが変わります。ルーターの貸し出しが難しい場合は、「ダウンロード学習アプリ」も活用しましょう。

端末管理の見直し

- 端末保管バッグやACアダプタの持ち帰りルールを整理する
- Wi-Fi接続手順や家庭での充電ルールを確認する
- 端末の紛失・破損時の対応フローを整理する
- 児童生徒と保護者へ端末の取り扱い方法を周知する



端末の持ち帰りを円滑に進めるためには、端末の管理方法や家庭での取り扱いについて、学校内でルールを整理しておくことが重要です。あらかじめ保護者へ案内しておくことで、トラブルの予防につながります。

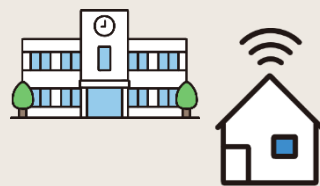
家庭への案内準備・周知

- ラインズeライブラリのご家庭向け案内文書とIDカードを印刷する
→家庭学習サービスの概要やログイン方法を保護者に説明する
- ラインズeライブラリの概要やおすすめ教材に関する資料を印刷する
→機能や操作方法、学習方法について児童生徒にわかりやすく伝える
- 学校HPにラインズeライブラリ家庭学習サポートサイトを掲載する
→概要やよくあるご質問、問い合わせフォームを保護者の目に入りやすくする
- 困ったときの相談先を明確にする
例：学校窓口、ラインズ保護者用メール<el-help@education.jp>、FAQなど
- 学校の実情に応じて、家庭学習の進め方をまとめた資料を準備する



家庭学習を継続するためには、学校と家庭が同じ目的を共有することが大切です。ラインズeライブラリの資料や学校独自の「家庭学習の手引き」で、家庭学習のねらいや取り組み方を丁寧に伝え、無理のない範囲で取り組めるよう案内しましょう。

ラインズeライブラリ 家庭学習準備チェックリスト



《学級担任・授業担当者編》

学校でログインや操作確認を行うと、児童生徒も無理なく家庭学習を始めることができます。周囲の先生や保護者と連携しながら、ゆるやかに家庭学習を進めましょう。

家庭学習の目的や進め方を共有

- 家庭学習の目的を児童生徒に伝える
例：授業内容を振り返る、自分に必要な学習を見つける、学習習慣をつけるなど
- 家庭での学習時間の目安と頻度を児童生徒に提示する
例：平日は【自分の学年×10分】、休日や部活のない日は【+30分】など

ラインズeライブラリの操作確認

-児童生徒へ活用サポート-

- ラインズeライブラリの概要やおすすめ教材に関する資料を配布する
- ラインズeライブラリのアカウントの扱い方に関する注意を促す
例：IDカードの管理、児童生徒メニューへのログイン方法など
- 授業でログイン方法の確認を済ませておく



家庭学習を始める前に、授業の中でログイン方法や操作方法を確認する時間を設けておくとう安心です。実際に操作しながら学習方法を紹介することで、児童生徒が家庭でもスムーズに取り組むことができます。

-取り組み方や提出状況の確認方法-

- 課題を出題して、対象者の正答率や学習時間、学習状況を確認する
- 児童生徒が自分で選んで学習した教材や正答率、時間を確認する



先生から課題を出題することで、ログインのきっかけになります。学習に慣れてきたら、自分で必要な学習を見つけて取り組むように促しましょう。

保護者へ定期的な情報発信・連携

- メールや保護者だより等でラインズeライブラリ家庭学習サポートサイトを案内する
- 保護者面談や授業参観でラインズeライブラリの学習状況を報告する
- ラインズ保護者用メール<el-help@education.jp>を案内する



児童生徒が家庭でスムーズに学習するために、保護者の協力が不可欠です。先生に問い合わせの負担を増やさないようにラインズのサポートをお役立てください。